

優良住宅部品認定基準「玄関ドア用錠前」他 15 品目を改正しました

～玄関ドア用錠前のバリエーションの追加等～

2022年8月1日

一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビングは、優良住宅部品認定基準（以下「BL 認定基準」という。）「玄関ドア用錠前」他 15 品目の改正を行い、2022 年 8 月 1 日付で公表・施行しました。

①「玄関ドア用錠前」においては、バリエーションの追加及び CP 認定電気錠における誤解錠防止対策の追加を行いました。

②「玄関ドア」、③「改修用玄関ドア」、④「改修用サッシ」、⑤「隔板」、⑥「プレストア専用改修用扉」、⑦「サッシ」、⑧「郵便受箱」、⑨「宅配ボックス」、⑩「墜落防止手すり」、⑪「面格子」、⑫「内装床ユニット」、⑬「天井ユニット」、⑭「断熱改修用内装パネルユニット」、⑮「給水ポンプシステム」、⑯「光配線システム機器」においては、JIS 規格改正に伴う改正を行いました。

『優良住宅部品（BL 部品）ガイドブック』も、ぜひご活用ください。

<https://www.cbl.or.jp/blsys/guide/index.html>



1 玄関ドア用錠前

1) バリエーションの追加

これまでの基準では、ハンドルと本締錠が一体となった箱錠（参考写真①）を基本としておりましたが、マンションの標準的な仕様は、プッシュプル錠と本締錠が分かれているタイプ（参考写真②）となっていることから、これを包含するため、用語の定義を見直しバリエーションを追加しました。



面付箱錠（レバーハンドル）



彫込箱錠（レバーハンドル）

参考写真①

本締錠とプッシュプル錠が
わかれている



プッシュプル錠

室内側

室外側

本締錠

参考写真②

2) CP 認定電気錠における誤解錠防止対策の追加

従来の電気錠（ハンズフリー機能）は、キー認証範囲が室内外に亘り、室内側にキーを持っている人がいた場合に、室外にいる第三者により解錠されてしまう可能性があるため、CP 認定電気錠（ハンズフリー機能）においては、誤解錠防止対策により室内側にキーを持った人がいた場合でも解錠されず、防犯性能を維持できることを要求しました。

2 玄関ドア、改修用玄関ドア、改修用サッシ、隔板、プレスドア専用改修用扉、サッシ、郵便受箱、宅配ボックス、墜落防止手すり、面格子、給水ポンプシステム

1) JIS 規格改正に伴う基準改正

最新版の引用 JIS 規格（JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）、JIS H 4000（アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条））に更新しました。（プレスドア専用改修用扉、サッシ、郵便受箱、宅配ボックスは、JIS H 4000 のみ。墜落防止手すり、面格子、給水ポンプシステムは、JIS G 3101 のみ。）

3 内装床ユニット、天井ユニット、断熱改修用内装パネルユニット

1) JIS 規格改正に伴う基準改正

最新版の引用 JIS 規格（JIS A 9521（建築用断熱材））に更新しました。

4 光配線システム機器

1) JIS 規格改正に伴う基準改正

最新版の引用 JIS 規格（JIS C 8435（合成樹脂製ボックス及びボックスカバー））に更新しました。

以 上